allcinema

# Ｋ－１９（2002）

K-19: THE WIDOWMAKER

**メディア** 映画
**ジャンル** ドラマ　サスペンス　アクション
**製作国**　アメリカ／イギリス／ドイツ
**色彩**　Color
**時間**　138分
**初公開日** 2002/12/14
**公開情報** 日本ヘラルド映画

**【キャッチコピー】**
NO MORE PANIC ！
世界はまだ知らない。

世界なんか、一瞬で終わる。

**【解説】**
　ソ連の原子力潜水艦Ｋ－１９で１９６１年に実際に起った放射能事故を基に、「ブルースチール」「ハートブルー」のキャスリン・ビグローが映画化した骨太のサスペンス。米ソによる核戦争に発展しかねない原潜事故という最悪のトラブルに命懸けで立ち向かう乗組員たちの姿を緊張感たっぷりに描く。主演は「エアフォース・ワン」のハリソン・フォード。
　１９６１年、米ソ冷戦の最中、ソ連国家首脳部は原子力潜水艦Ｋ－１９の処女航海の艦長にアレクセイ・ボストリコフを任命した。副艦長には経験豊富なミハイル・ポレーニンが就き艦は出航。この２人の意見はしばしば対立するが、Ｋ－１９は次々にテストを成功させていった。困難なテストを乗り切り乗組員たちは束の間リラックスする。しかしその直後、新たな任務の遂行中、艦内の冷却装置のひび割れが判明する。原子炉は過熱し始め、このままでは炉心の溶融が避けられない。ボストリコフはじめ乗組員は、大惨事をくい止めるべくひとつの決断を下すのだった。

**【クレジット】**

| | | | |
|---|---|---|---|
| **監督** | キャスリン・ビグロー | Kathryn Bigelow | |
| **製作** | キャスリン・ビグロー | Kathryn Bigelow | |
| | エドワード・Ｓ・フェルドマン | Edward S. Feldman | |
| | シガージョン・サイヴァッツォン | Sigurjon Sighvatsson | |
| | ナイジェル・シンクレア | Nigel Sinclair | |
| | クリス・ウィッテカー | Chris Whitaker | |
| **製作総指揮** | モリッツ・ボーマン | Moritz Borman | |
| | ガイ・イースト | Guy East | |
| | ハリソン・フォード | Harrison Ford | |
| **原案** | ルイス・ノーラ | Louis Nowra | |
| **脚本** | クリストファー・カイル | Christopher Kyle | |
| **撮影** | ジェフ・クローネンウェス | Jeff Cronenweth | |
| **音楽** | クラウス・バデルト | Klaus Badelt | |
| **出演** | ハリソン・フォード | Harrison Ford | アレクセイ・ボストリコフ艦長 |
| | リーアム・ニーソン | Liam Neeson | ミハイル・ポレーニン副長 |
| | ピーター・サースガード | Peter Sarsgaard | 原子炉担当士官ヴァディム |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

| | | |
|---|---|---|
| クリスチャン・カマルゴ | Christian Camargo | 原子炉担当官パベル |
| ピーター・ステッビングス | Peter Stebbings | |
| ジョス・アックランド | Joss Ackland | |
| ドナルド・サンプター | Donald Sumpter | |
| マイケル・グラディス | Michael Gladis | |
| ジョージ・アントン | George Anton | |
| スティーヴ・ニコルソン | Steve Nicolson | |
| ジョン・シュラプネル | John Shrapnel | |

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.